

2019年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽	学年	1	
				コース等	T	
	使用教科書	『改訂版 高校生の音楽1』音楽之友社			履修単位数	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てる。 ・感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに実技や筆記の確認テストを行う。 ・ノート提出や授業での練習への姿勢を総合的に判断し、評価する。 	
授業計画						
月	単元・教材	学習内容				
4	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・口の開き方や横隔膜の使い方など体を使い、無理のない発声法を学ぶ。 ・校歌の曲想、歌詞を理解させてしっかり歌えるように覚える。 				
5	・鑑賞(西洋音楽)	<ul style="list-style-type: none"> ・少年時代 ・古典派～ロマン派前半の作曲家を取り上げる。 				
6	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・翼をください(二部合唱やギター伴奏) ・O sole mio(イタリア語の歌詞で歌う) 				
7	・鑑賞(西洋音楽)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル鑑賞(サウンド・オブ・ミュージック) ・ドラマの進行を音楽がどのように関わっているか学ぶ。 				
9	・効果音	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊効果を使った映像がどのように作られているかを研究する。 ・日常にある音などを映像に組み合わせる。 				
9	・楽典(音程の判定)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭、保育士の資格に必要な比較的簡単な理論を学ぶ。 				
10	・器楽(ヴァイオリン)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の取り扱い方法や名称など覚える。 ・基礎的な奏法を学びながら、きらきら星など演奏をする。 				
11	・オペラ鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラ「カルメン」鑑賞して、時代背景や登場人物の感情など音楽の表現がどのように関わっているか学ぶ。 				
12	・器楽(ギター)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴や取り扱い方法を学ぶ。 ・基本的なコードを習得する。 ・「栄光の架橋」を弾けるようにする。 				
1	・ミュージカル鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞マナーなど修学旅行の事前学習も兼ねて「オペラ座の怪人」を鑑賞する。 ・登場人物と物語を理解することで字幕なしでも内容がわかるようにする。 				
2						
3	・創作	<ul style="list-style-type: none"> ・オルゴール楽譜を使い、簡単な旋律を作曲する。 				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに自作の資料を配付する。 					

2019年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術 I	学年	1
				コース等	T
	使用教科書		『美術 I』光村図書	履修単位数	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の幅広い活動を通し、美的体験を豊かにする。 ・生涯にわたり、美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高める。 ・創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深めゆたかな情操を養う。 			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・各作品を中心に学習内を観点別に評価する。 (関心・意欲・態度、知識・理解、技術・技能・鑑賞の能力)
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校美術の特性や目標を理解し、表現することの意味を理解する。 ・現代アート入門。美術史(西洋と日本)を学ぶとともに、現代アートにおけるコンテクストを理解し作品を鑑賞する。 			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・素描1 グラデーション ・素描2 手のデッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆によるトーンスケールを作り、調子の幅を理解し制作する。 ・構図、立体感、質感、明暗の表現を理解し制作する。 ・線による面の表現を理解し、制作する。 			
6	<ul style="list-style-type: none"> ・素描3 自画像 ・素描4 校内写生 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作を通して自分自身を見つめるとともに、細部までの表現を行う。 ・二点透視図法、三点透視図法を理解し制作する。 			
7	<ul style="list-style-type: none"> ・色の整理と色相環 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の三属性、面積比について理解する。 ・マンセルの色相環、ヨハネス＝イッテンの色相環について理解する。 ・混色、平塗、について理解し、ヨハネス＝イッテンの色相環を制作する。 			
9		<ul style="list-style-type: none"> ・彩色の基本を学び、理解し制作する。水と絵の具の適切な分量と混色の方法等。 ・色相環が同じ割合でトーン変化することの大切さを理解し、制作する。 ・仕上げについて理解し制作する。 			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・油絵(静物) 	<ul style="list-style-type: none"> ・油絵の歴史について学び、理解する。 ・油絵具の用具とその特性を理解し、基本的な表現方法を学び制作する。 			
10		<ul style="list-style-type: none"> ・主題の明確化など、静物観察の基本的な見方を学ぶ。 ・パルルールについて理解する。 			
11		<ul style="list-style-type: none"> ・基本を押さえた上で、各自の個性を活かした表現となるように制作する。 ・仕上げとサインについて理解し、作品を完成する。 			
12		<ul style="list-style-type: none"> ・互いの完成した油絵作品鑑賞を行い、その良さを理解する。 ・鑑賞を通して作品制作で学んだことなどを鑑賞カードにまとめる。 			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・立体構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇腹折をもとに紙を材料として平面から立体にする方法を学ぶ。 ・制作条件に合致したオリジナル作品を制作する。 ・アイデアを連続して考えることの大切さを理解し、思考を途切らせないようにする。 ・試作から完成まで丁寧な作品制作を行う。 			
2		<ul style="list-style-type: none"> ・互いの完成した立体構成の作品を鑑賞し、その良さを理解する。 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞(抽象表現について) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャクソンポロック、白髪一雄の制作をビデオ鑑賞し、アクションペインティングについて理解する。 			
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・『美術 表現と技法』日本文教 版社) 				

2019年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道 I	学年	1
				コース等	T
	使用教科書		『書 I』 光村図書	履修単位数	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術としての「書」を理解出来るようになる。 ・漢字(楷書・行書)や仮名の造形を知り、特徴にあわせて書き分けが出来るようになる。 			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに課題を提出し、各提出作品と授業の受講姿勢などを含め総合的に判断する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	・書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> ・書写から書道へ ・甲骨文字にみる漢字の成り立ち 			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書の学習 ・楷書の古典 ・唐の四大家 	<ul style="list-style-type: none"> ・文房四宝 ・漢字の書体の変遷 ・楷書古典の臨書による点画や線質の表現、用筆、運筆法 			
《第1回定期試験》					
6	・北魏の書	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴の強い点画や線質 			
7	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の古典 ・王羲之の書 ・空海の書 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書古典の臨書による基本的な点画や線質の表現、用筆、運筆法 			
9	・草書の古典	<ul style="list-style-type: none"> ・草書が成立する過程や草書の用筆、運筆法 			
《第2回定期試験》					
9	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の書の学習 ・仮名の基本 ・蓬萊切 	<ul style="list-style-type: none"> ・古筆の臨書による基本的な点画や線質の表現、用筆、運筆法 			
10					
11					
《第3回定期試験》					
12	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の書 ・年賀状作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・干支文字を使った年賀状作成 			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書 ・漢字仮名交じり書とは ・古典、古筆から学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の準備と意図 ・漢字古典や古筆を生かした表現 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・余白の変化 ・墨色の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字と余白の関係性 ・墨色と紙の関係性 			
《第4回定期試験》					
3	・創作	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばと書の関係性 			
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに関連資料を配付する。 				